



年末年始労働災害防止強調期間にあたり

皆さんご安全に！

新型コロナの感染は一旦落ち着きつつあるように感じますが、冬季におけるインフルエンザとの同時流行が懸念されております。引続き油断することなく予防対策の徹底をお願いします。

早いもので今年も残すところあと1ヵ月となりました。残念なことに本年の安全成績は、良好な成績であった2021年から急転し、過去10年間でもワーストに近い憂慮すべき事態になっております。従前より課題としておりました「人的要因」に加え、現場での指導不足や指示不徹底等の「管理面」での課題も新たな災害要因として散見される状況です。休業には至らずに済んではいませんが、不休災害の件数増加も看過できないものとなっております。

例年、年末年始は繁忙感や気ぜわしさ、気の緩みから気分が散漫になりがちとなり、災害が多発する傾向にあります。私たちはこの時期を重点期間と位置付け本年の方針や上期での反省を踏まえ、以下の事項を再確認し、全員で無災害の年末年始を迎えましょう。

➤ 2022 年々末年始重点活動事項

重点管理方針	重点活動事項
安全管理マネジメントの強化	① 現場や現地をしっかりと確認することで作業内容に則した指導監督を強化する。 ② RKY活動を粘り強く指導しリスク顕在化のうえ実効的な対策を徹底する。 ③ 各部門での災害事例を教訓とした災害予防対策の浸透度合いを確認し評価する。 (言いっぱなしにしない。実査・確認・フォローの徹底)
墜落災害防止対策の徹底	① 足場計画・墜落防止設備計画に対する着工前安全審査を確実に実施する。 ② 足場設置時および工事進捗状況に応じた墜落災害防止対策をチェックする。 ③ 管理者・監督者の安全パトロール声掛けにより不安全行動を防止する
新規入構者・未熟練者の適切な対応	① 新規入構者・未熟練者への声掛けは可視化シール等を活用し啓発活動を推進する。 ② 新規入構者・未熟練者が現場に適應するまで管理・監督者によるケアを徹底する。 ③ (ひとり作業の回避・仲間のフォロー)
健康維持増進活動の推進	① 働きやすい職場づくりを目指し社員のストレス状況改善に努める。 ② 心身の健康情報提供と健康維持・増進指導を充実させる。 ③ 新型コロナ感染症とインフルエンザ感染防止対策を継続する。

年末の繁忙さや冬季での気象条件変化により、体調を崩しやすい季節となります。うがいや手洗い等の衛生面の管理も併せてお願いします。全員が健やかな新年を迎えられるよう団結して本期間の「災害ゼロ」を達成しましょう。

ご安全に！

2022 年 12 月 1 日

安全衛生・環境部長 藤田 崇